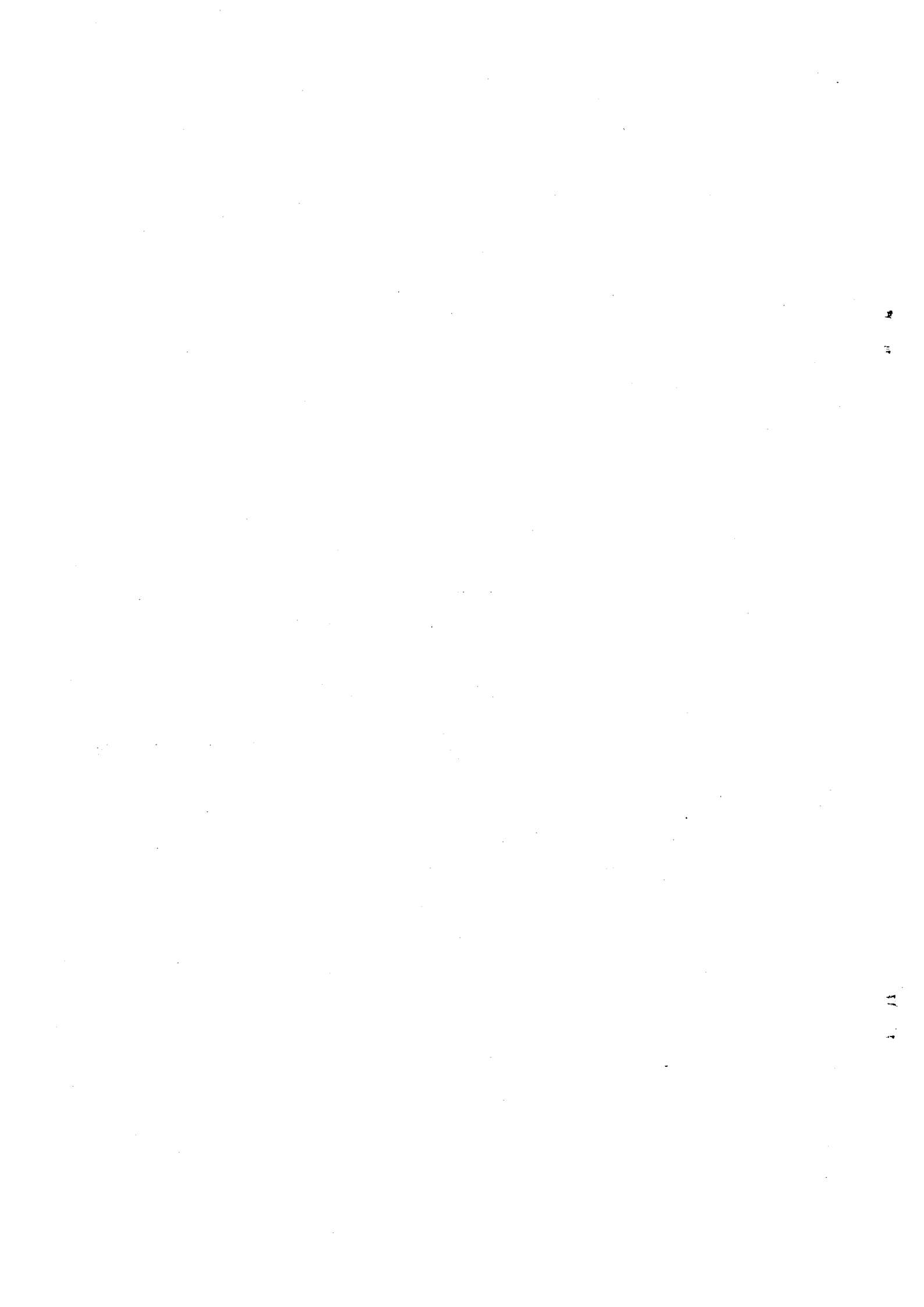


厚生文教常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	小田原市文化振興ビジョンの推進について	文化政策課
2	芸術文化創造センター整備について	
3	駅前図書施設機能整備等の検討状況について	図 書 館
4	旧社会福祉センター跡地の貸付について	福祉政策課
5	送迎保育ステーション等に関するアンケート調査の結果について	保 育 課

平成28年 2 月 25 日



小田原市文化振興ビジョンの推進について

1 小田原市文化振興ビジョン推進委員会について

(1) 開催結果

回	日時	場所	内容
第4回	2月10日(水) 10時～12時	全員協議会室	議題：条例の骨子案について

(2) 今後のスケジュール

平成28年

5月～6月

中間答申

6月～7月

条例骨子案の市民意見募集

秋

最終答申

12月

12月定例会に条例議案の上程

2 文化シンポジウムの開催結果について

事業名 文化シンポジウム～文化で「ひと」と「まち」を紡ぐ～

日時 平成28年1月31日(日) 14時～16時35分

会場 おだわら市民交流センター 会議室1・2・3

内容 第1部 基調講演

「文化発信に活かすコミュニケーション力～つながりを大切に～」

<講師> 大島 武氏(東京工芸大学芸術学部教授)

第2部 パネルディスカッション

「文化のもとで社会とつながりを」

<パネリスト>

鬼木和浩氏(横浜市文化観光局文化振興部文化振興課 主任調査員)

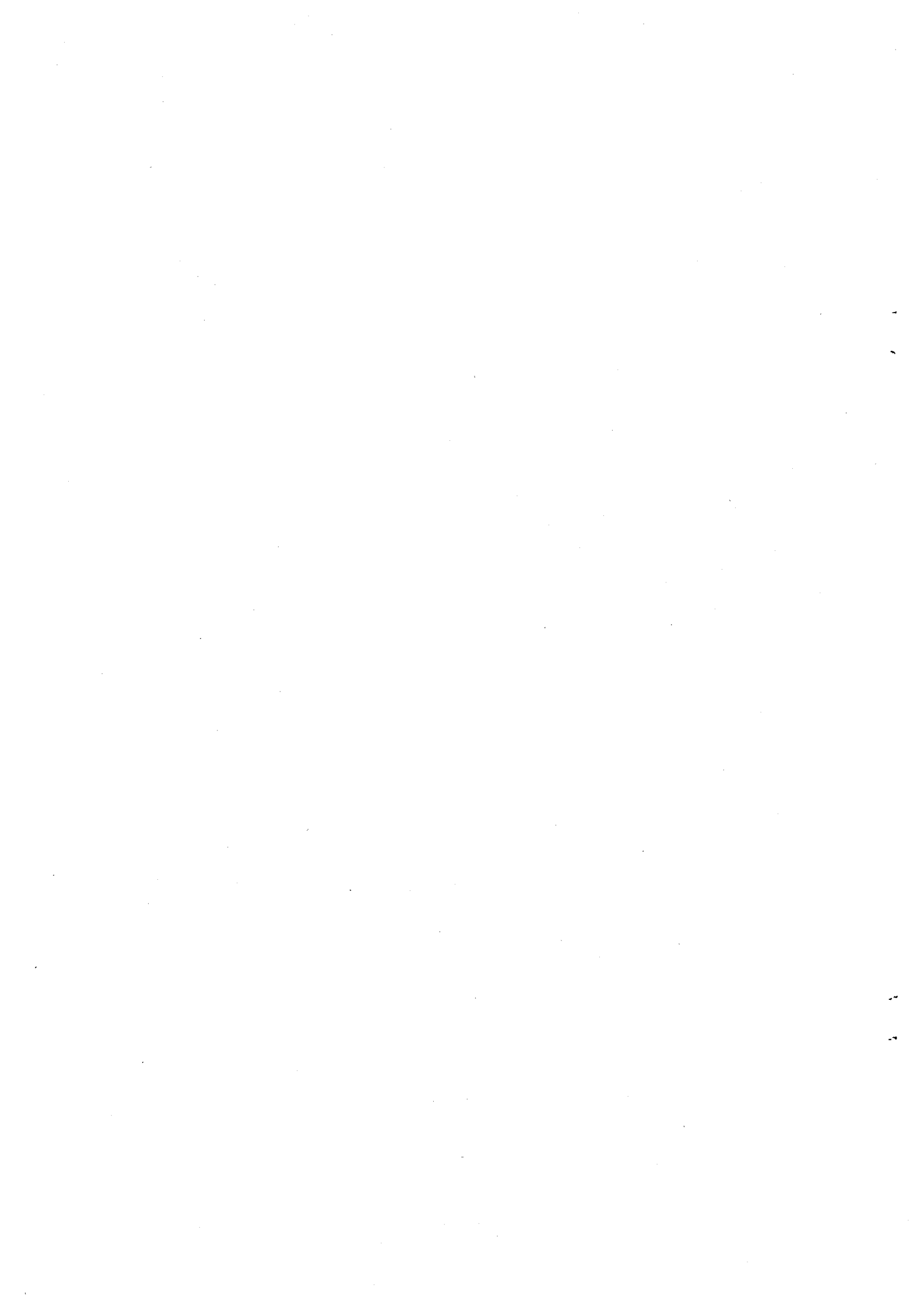
萩原美由紀氏(小田原市教育委員/NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長)

大島 武氏(東京工芸大学芸術学部教授)

<進行> 中根希子氏(ピアニスト)

* 鬼木氏、萩原氏、中根氏は小田原市文化振興ビジョン推進委員会委員

参加者 45名(男性22名 女性23名)



芸術文化創造センター整備について

1 平成27年度整備推進体制について

(1) 開館準備アドバイザー名簿(平成28年1月25日現在)

区分(専門分野)	氏名	所属	備考
施設設計(建築計画)	小野田 泰明	東北大学大学院教授	新任 (1月25日付)
舞台設備(舞台機構)	白神 久吉	東京芸術劇場 舞台管理担当課長	
舞台設備(舞台照明)	井口 眞	㈲オフィス エス.アイ.エヌ. 代表取締役	
舞台設備(舞台音響)	市来 邦比古	日本舞台音響家協会副理事長	
管理運営(劇場運営) 舞台設備(舞台照明)	桑谷 哲男	座・高円寺館長	

2 「事業提案」に向けた意見募集について

(1) 実施スケジュールの変更

ア 変更前

- ① 意見募集の公表【平成27年12月25日(金)】
- ② 事業者からの登録受付期限【平成28年1月15日(金)】
- ③ 事業者からの資料提出期限【平成28年1月29日(金)】
- ④ 意見聴取の実施【平成28年2月1日(月)～平成28年2月12日(金)】
- ⑤ 結果の概要の公表【平成28年3月予定】

イ 変更後

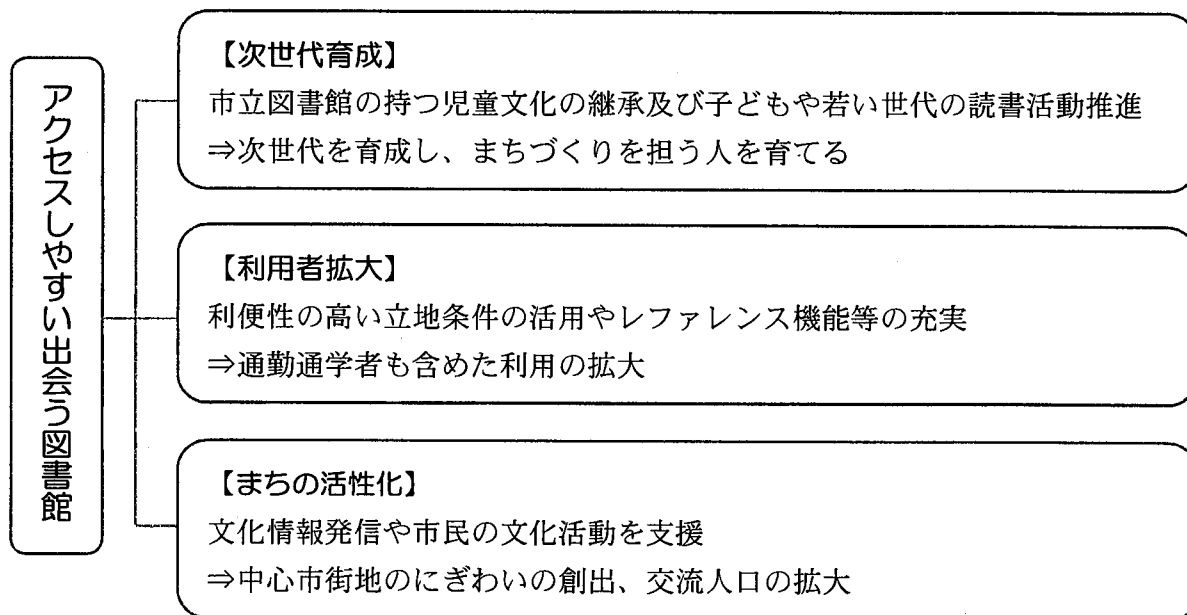
- ① 意見募集の公表【平成27年12月25日(金)】
- ② 事業者からの登録受付期限【平成28年1月15日(金)】
- ③ 事業者からの資料提出期限【平成28年1月29日(金)】
- ④ 意見聴取の実施【平成28年2月1日(月)～平成28年3月4日(金)】
- ⑤ 結果の概要の公表【平成28年3月予定】



駅前図書施設機能整備等の検討状況について

平成27年2月に策定した「小田原市図書館・機能整備等基本方針」に基づき、小田原駅前に整備する新たな図書施設について、市民意見等を踏まえ、検討を行った結果、施設のコンセプトや基本的な機能等を以下のとおりとする。

1 駅前図書施設のコンセプト



2 整備場所

小田原駅東口お城通り地区再開発事業における広域交流施設ゾーンでの整備を想定して検討を進めている。 想定面積は1,000㎡～1,300㎡。

3 主な機能

(1) 閲覧・貸出

小田原駅近隣の各種学校の学生や駅利用の通勤・通学者、また高齢者など、あらゆる層の利用者に対応するため、広範な資料（情報）を提供する。

(2) レファレンスサービス

コンピュータや各種データベース等によるレファレンスツールを整備し、専門カウンターの設置など配置や人的対応等、必要な体制整備を実施する。

(3) 子どもの読書活動推進（次世代育成）

子どもや若い世代の読書活動を推進することにより、次世代を育成し、これからのまちづくりを担う人間を育む拠点となる図書施設を目指す。

(4) 学習支援

利用者の調査・研究や課題解決に対して、正確な情報や基礎的資料の提供及び学習場所の提供をする。

(5) 情報発信・にぎわいの創出

資料提供だけでなく近隣施設等との連携事業を実施するなど、地域の文化情報等を発信することにより、中心市街地のにぎわいを創出、交流人口の拡大を図る。

4 主な設備・コーナー等

(1) 図書管理システムの導入

- ・自動貸出返却機
- ・持出し防止ゲート

(2) 特化したコーナーの設置

- ・生産年齢層、子育て世代、観光客等
- ・企画展示

(3) 電子機器への対応

- ・Wi-Fi環境の整備
- ・データベース利用端末の導入（参考書等）

(4) 子と親のための空間

- ・声や音が気にならない空間の設置
- ・授乳室や幼児用トイレの設置

(5) 多目的ルームの設置

- ・特別展示等各種イベントや講演会等による情報発信・交流の基地
- ・グループ学習にも対応

5 市民意見聴取について（詳細については、別紙のとおり）

(1) 対象：一般

実施方法：意見聴取

参加人数：80名

実施場所：市民会館（H27.8.25、26）・地下街ハルネ広場等（H27.10.25）

(2) 対象：子育て世代

実施方法：意見聴取

参加人数：45名

実施場所：子育て支援センター（マロニエ H27.9.9）・（おだぴよ H27.9.10）

(3) 対象：高校生・司書教諭

実施方法：意見聴取

参加人数：40名

実施場所：小田原総合ビジネス高校（H27.9.7）・小田原高校（H27.9.15）

(4) 対象：障がい者団体（小田原バリアフリーを考える会）

実施方法：郵送による意見聴取

参加人数：団体として回答（H27.11.21回答）

(5) 対象：高齢者（老人大学）

実施方法：アンケート

参加人数：96名

実施場所：おだわら総合医療福祉会館（H28.1.21）

市民意見聴取の結果について

〈総括表〉

区分	意見の類型化	件数
A	施設に関連するもの	26件
B	運用に関連するもの	38件
C	その他、質問等	1件

〈意見内容〉

	意見の内容（要旨）	区分	今後の対応等
1	本の返却は、ブックポストでよいので、24時間利用したい。	B	今後、検討していきます。
2	朝7時から21時まで、長時間開館してほしい。	B	今後、検討していきます。
3	学童と大人の分け方を考慮したほうが良いのではないか。	A	両者が共にうまく利用できるように検討していきます。
4	「仕切られた学習スペース」と「オープンな学習スペース」と両方必要ではないか。	A	今後、設置に向けて検討していきます。
5	子育て世代の親に役立つような「子育て支援コーナー」的なスペースを設置してほしい。	A	今後、設置に向けて検討していきます。
6	読み聞かせ・児童書を楽しむ場として、親子で利用できるスペースを設置してほしい。	A	今後、設置に向けて検討していきます。
7	防音室など子どもの声に配慮したスペースは必要だと思う。	A	今後、設置に向けて検討していきます。
8	また、授乳室ベビーカーに配慮したスペースがほしい。	A	今後、設置に向けて検討していきます。
9	観光客に小田原らしさを特にPRできるもの（歴史・文化紹介）などの資料は、そろえてほしい。	B	今後、反映できるよう検討していきます。

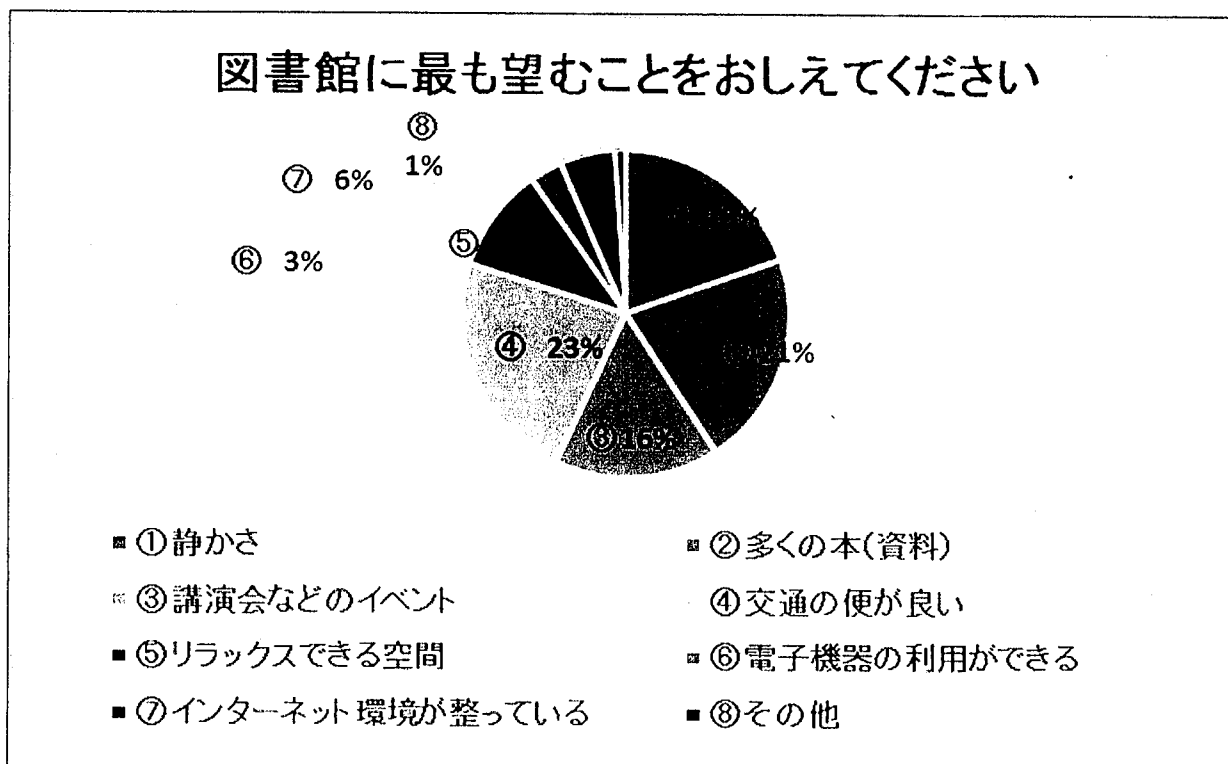
10	小・中学生の調べ学習に対応できるような郷土の資料があるとよい（時には団体貸出できるような）。	B	今後、反映できるよう検討していきます。
11	質のよいマンガがあれば利用率が上がるのではないか。	B	今後、検討していきます。
12	電子書籍を取り入れほしい。	B	今後、検討していきます。
13	「ビジネスマンのための図書館活用術講座」などがあると良い。	B	今後、検討していきます。
14	「観光サポートサービス」があると良い（観光ビジネス、観光客のどちらにも有効な情報サービスを提供）。	B	今後、反映できるよう検討していきます。
15	子ども読書活動推進に係る講演会を事業化してほしい。	B	今後、検討していきます。
16	次世代育成のための大学との連携をしてほしい。	B	今後、検討していきます。
17	次世代のためにも、文学等に関する文化講座を開催してほしい。	B	今後、検討していきます。
18	受験や進路の解説や説明をしてほしい。	B	今後、検討していきます。
19	小田原に関する作家や本に関する講演会を開催してほしい。	B	今後、検討していきます。
20	受験や進路のことを調べることができる本があると良い。	B	今後、検討していきます。
21	本を読む場所で飲み物が飲めると嬉しい。	B	今後、検討していきます。
22	公衆無線LANを設置してほしい。	A	今後、検討していきます。
23	高校生や大学生が独自に実施する講座、講演会をしてほしい。	B	今後、検討していきます。
24	読み聞かせをしてほしい	B	今後、検討していきます。
25	シリーズが多いもの、ハードカバーの高い本があると嬉しい。	B	今後、検討していきます。
26	専門雑誌があると良い。	B	今後、検討していきます。
27	小田原関連の本があると良い。	B	今後、反映できるよう検討していきます。

28	北原白秋関連書籍があると良い。	B	今後、反映できるよう検討していきます。
29	閲覧室、学習室（左記2箇所飲み物可）、談話室（飲食可）など、場所を分けてほしい。	A	今後、設置できるよう検討していきます。
30	本棚と本棚の間に机や椅子を置いてほしい。	B	今後、検討していきます。
31	音楽は流れていても良いと思う（声は入っていないもの）。	B	今後、検討していきます。
32	おすすめの小説などを分かるように置いてほしい。	A	今後、設置できるよう検討していきます。
33	図書館にある本を使い、人形劇を開催してほしい。	B	今後、検討していきます。
34	作者別の絵本紹介展を開いてほしい。	B	今後、検討していきます。
35	子ども連れ利用者のために、畳の部屋がほしい。	A	今後、スペースについては設置できるように検討していきます。
36	親子で入れる広いトイレがあると良い。	A	今後、設置できるよう検討していきます。
37	年齢（月齢）別に紹介してある本があると良い。	B	今後、設置できるよう検討していきます。
38	子ども連れ利用者のために、カーペット敷きのスペースがほしい。	A	今後、スペースについては設置できるように検討していきます。
39	6か月児くらいでも楽しめる本の読み聞かせを実施してほしい。	B	今後、検討していきます。
40	図書館の内装などに、地域で生産されたものを使用してほしい。	A	今後、検討していきます。
41	リラックスして憩える空間として、カフェ等を併設してほしい。	A	限られたスペースに、より充実した図書施設を設置するため、カフェ等を設置する予定はありません。
42	本だけではなく、音楽・映像資料も活用できるイベントスペースを設置してほしい。	A	今後、検討していきます。
43	本と関連のある品物が購入できるスペースがほしい。	A	今後、検討していきます。

44	利用者がセレクトした本を一定期間設置できる書棚がほしい（書評やおすすめ評を本に表示する）。	A	今後、検討していきます。
45	喫茶店などといった軽食が取れるスペースがほしい。	A	限られたスペースに、より充実した図書施設を設置するため、軽食が取れる店舗等を設置する予定はありません。
46	駅前とはいえ、十分な広さがないと使い勝手が悪くなる。十分な広さを確保してほしい。	A	今後、検討していきます。
47	学習スペースを充実させたほうが良い。学生が常にいるような状態をつくと活性化する。	A	今後、設置できるよう検討していきます。
48	広い学習室がほしい、また、学生のために遅くまで使えると良い。	A	今後、設置できるよう検討していきます。
49	みんなのトイレを設置して欲しい。	A	今後、可能な限り設置できるよう検討していきます。
50	障がい者の経験談等の資料を揃えて欲しい。	B	今後、検討していきます。
51	駐車場・駐輪場等を確保してほしい。	C	図書館専用の駐車場・駐輪場等を設置することは考えておりません。
52	リサイクルブックコーナーを拡充してほしい。	B	今後、検討していきます。
53	椅子は座り心地の良いものにしてほしい。	A	今後、検討していきます。
54	誰でも気軽に入れる図書館にしてほしい。	A	今後、検討していきます。
55	観光客により深い情報を発信し、リピーターになってもらえると良い。	B	今後、可能な限り反映できるよう検討していきます。
56	小さな子どもが行きたくなるような図書館にしてほしい。	A	今後、検討していきます。
57	夏休みに親子で楽しむことができるイベントを企画してほしい。	B	今後、検討していきます。
58	大人のための朗読会を開催してほしい。	B	今後、検討していきます。
59	司書に気軽に聞ける図書館が良い。	B	今後、可能な限り反映できるよう検討していきます。

60	学校の資料やマンガ書店の蔵書のリストがあると良い。	B	今後、検討していきます。
61	全国主要各市町村の地方紙、タウン誌を配架してほしい。	B	今後、検討していきます。
62	公共図書館と学校図書館の密なる連携を望む。	B	今後、可能な限り連携がすすむよう検討していきます。
63	新聞を置いてほしい。	B	今後、検討していきます。
64	老人向けの本を置いてほしい。	B	今後、検討していきます。
65	子どもたちが騒いでも構わない図書館であると良い。	A	今後、可能な限り反映できるよう検討していきます。

高齢者アンケートの結果



「交通の便が良い」という地理的条件を挙げる回答が一番多く、「多くの本（資料）」、「静かさ」、「講演会などのイベント」、「リラックスできる空間」といった、図書館の運用や館内環境を挙げる回答が続き、大半を占めた。

旧社会福祉センター跡地の貸付について

1 経緯

平成 27 年 12 月 8 日 産婦人科医院開設及び運営のための基本協定書締結
平成 28 年 1 月 27 日 事業用定期借地権設定契約のための合意書締結

2 土地貸付（合意書）の概要

- (1) 用 途 分娩施設を有する産婦人科医院の敷地
- (2) 貸付期間 平成 28 年 6 月（予定）から 30 年間
- (3) 貸付料 月額 386,959 円（不動産鑑定評価額に基づく）
- (4) 貸付料の納付時期

毎月末日までに翌月分を納付。

ただし、平成 28 年 6 月分から平成 29 年 3 月分までの
貸付料は、平成 30 年 3 月からの各月に納付する。

3 建物の概要（予定）

- (1) 延床面積 1,020.54㎡
- (2) 構 造 木造 2 階建
- (3) ベッド数 17 床

4 今後のスケジュール

平成 28 年	5 月末	旧社会福祉センター解体撤去工事完了
	6 月	事業用定期借地権設定契約締結 産婦人科医院建設工事着手
	12 月	同建設工事完了 産婦人科医院開業

送迎保育ステーション等に関するアンケート調査の結果について

1 経緯

平成27年8月に、市内の保育園と送迎保育ステーションをバスで結び、郊外の保育園の利用促進や小田原駅周辺での送迎による保護者等の負担の軽減を主旨とした「送迎保育ステーション設置についての陳情書」が提出され、同年市議会9月定例会において、陳情が採択された。

陳情項目が「小田原駅周辺における送迎保育ステーションに対するニーズ調査および設置」であったことから、送迎保育ステーションに関する項目を中心に就学前の子育て世帯のニーズ把握を行うため、同年11月から12月にかけて「小田原市における幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業（送迎保育ステーション等）に関するアンケート調査」を実施した。

2 調査の結果

(1) 調査概要

調査方法：市内在住の未就学児童の中から無作為抽出により2,500人を選び、対象児童の保護者宛てに調査票を送付

調査期間：平成27年11月13日～12月11日

回収数：1,437通

(回収率57.5% 平成28年1月15日到着分までを反映)

(2) 調査結果

別紙 「小田原市における幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業（送迎保育ステーション等）に関するアンケート調査 調査結果」

3 送迎保育ステーションについての考え方

今回のアンケート調査は、送迎保育ステーションをはじめとして幼稚園等における延長保育や預かり保育等のニーズ把握に加えて、日頃の子育て世帯の保育園等への送迎や通勤の状況を聞くなど、多岐に渡る調査項目であったが、回収率は6割近くとなっており、子育て世帯からの高い関心がうかがわれた。

送迎保育ステーションは、鉄道駅の最寄りに設置し通勤手段と保育サービスの距離を近づけることで、特に遠距離通勤の子育て世帯に対する送迎時の利便性の向上を目的としたものである。

調査の結果、送迎保育ステーションについては、現在、保育園等を利用している世帯のうち「利用しない」と回答した世帯は46.3%だったが、「利用したい」と回答した世帯は22.0%で、一定の利用希望があることが示された。

しかしながら、保育園等を利用していると回答した536世帯のうち、送迎保育ステーションを利用したいと回答し、なおかつ電車を利用している方は35世帯(6.5%)であり、そのうち東京、横浜、川崎方面に遠距離通勤をしている方は18世帯(3.4%)であった。さらに、設置を希望する駅は、小田原駅以外に鴨宮駅、国府津駅にも一定の希望があることも考慮すると、1か所の送迎保育ステーションの設置により得られる効果は、一層限定的なものになると考えられる。

また、送迎保育ステーションの実施に当たっては、保護者と保育園の間での子どもに関する情報の共有や送迎に伴う子どもの体への負担や安全確保など、様々な課題が想定される場所であるが、調査の中においても、送迎保育ステーションを利用しない理由として、これらの点を心配する回答が一定数見受けられた。

さらに、今回の調査では、日常的な幼稚園、保育園等の利用以外に利用していきたい教育・保育サービスについて回答を求めているが、その中では、病児・病後児保育や保育園・幼稚園における延長保育のニーズ等が高く、送迎保育ステーションは、設問で設定した選択肢10項目中9番目となっている。

以上の調査結果に基づき、送迎保育ステーションについては、現下の厳しい財政状況を踏まえた上で、設置運営上の課題や費用対効果、さらには子育て支援サービス全般における優先度も考慮しながら、総合的に検討していく必要があるものと考えられる。

小田原市における幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業 (送迎保育ステーション等)に関するアンケート調査 調査結果

1 調査概要

(1) 調査の目的

平成27年9月の市議会定例会において「小田原駅周辺における送迎保育ステーションに対してのニーズ調査および設置」の陳情が採択されたことを受け、送迎保育ステーションに関することを含め、幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業に関するニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査方法

平成27年11月2日現在で小田原市在住の未就学児童の中から無作為抽出により2,500人を選び、対象児童の保護者宛てに調査票を送付し、返信用封筒により回収

(3) 調査期間

平成27年11月13日から平成27年12月11日

(4) 回収状況(平成28年1月15日到着分までを調査に反映)

区分	配布数	回収数	回収率
0歳児(※)	549	325	59.2%
1歳児	344	209	60.8%
2歳児	362	205	56.6%
3歳児	424	256	60.4%
4歳児	402	209	52.0%
5歳児	419	229	54.7%
年齢回答なし		4	—
合計	2500	1437	57.5%

※年齢区分は学年で区切っている。11月発送のため、0歳児は1年7か月分の児童が対象となる。

(5) 調査結果の表示方法

回答の構成比は、各設問に対する回答数を分母とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

2 調査結果

回答者属性

問1 お住まいの住所の郵便番号を記入してください。

区域	回答数	構成比 (%)
川西北部	301	20.9
川東北部	213	14.8
川西南部	488	34.0
川東南部	428	29.8
無回答	7	0.5

区域の構成比は、平成 25 年度に実施した子ども・子育て支援事業計画に向けたニーズ調査と概ね同様であり、川西南部が最も多くなっている。

回答数計 1,437

(川西北部) 東富水地区、富水地区、桜井地区
 (川東北部) 豊川地区、上府中地区、下曾我地区、曾我地区
 (川西南部) 緑地区、新玉地区、万年地区、幸地区、十字地区、足柄地区、芦子地区、二川地区、久野地区
 大窪地区、早川地区、山王網一色地区、片浦地区
 (川東南部) 下府中地区、富士見地区、国府津地区、酒匂・小八幡地区、前羽(橘南)地区、橘北地区

問2 あて名のお子さまの生年月を記入してください。

年齢	回答数	構成比 (%)
0 歳児	325	22.6
1 歳児	209	14.5
2 歳児	205	14.3
3 歳児	256	17.8
4 歳児	209	14.5
5 歳児	229	15.9
無回答	4	0.3

年齢区分は学年で区切っているが、11月発送のため0歳児は1年7か月分の児童を対象としているため、配布数が多くなっている。

回答数計 1,437

問3 この調査票に回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さまからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
母親	1279	89.0
父親	155	10.8
その他	1	0.1
無回答	2	0.1

回答者は、約9割(89.0%)が「母親」となっている。

回答数計 1,437

※その他： 祖母

教育・保育サービスの利用状況

問 4 あて名のお子さまは現在、幼稚園や保育園などの教育・保育サービスを平日、定期的に利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用している	852	59.3
利用していない	585	40.7
無回答	0	0.0

回答数計 1,437

約 6 割 (59.3%) の世帯が、幼稚園や保育園などのサービスを定期的に利用している。

問 4-1 (問 4 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。) あて名のお子さまはどのような教育・保育サービスを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
幼稚園	294	34.5
認可保育所	476	55.9
認定こども園 (保育利用)	23	2.7
認定こども園 (幼稚園利用)	16	1.9
小規模保育事業	6	0.7
事業所内保育施設	12	1.4
認可外保育施設	19	2.2
無回答・その他施設利用	6	0.7

回答数計 852

教育・保育サービスを利用している世帯のうちの 5 割以上 (55.9%) が、「認可保育所」を利用している。

問 4-2 (問 4 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。) 将来的にどのような教育・保育サービスを利用することを考えていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
幼稚園	296	50.6
認可保育所	200	34.2
認定こども園 (保育利用)	12	2.1
認定こども園 (幼稚園利用)	12	2.1
小規模保育事業	0	0.0
事業所内保育施設	4	0.7
認可外保育施設	5	0.9
利用しない	2	0.3
わからない	34	5.8
無回答・その他施設利用	20	3.4

回答数計 585

現在利用していない世帯の約 5 割 (50.6%) は、将来、「幼稚園」を利用することを希望している。

現在、保育サービスを利用している世帯の状況

問5 (問4-1で「認可保育所」、「認定こども園(保育利用)」、「小規模保育事業」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」に○をつけた方にかがいます。) 保育サービスの利用にあたっての送迎時間等の状況についてうかがいます。

(1) 利用のために自宅を出る時間は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比(%)
午前6時45分～7時より前	8	1.5
午前7時～7時15分より前	41	7.6
午前7時15分～7時30分より前	34	6.3
午前7時30分～7時45分より前	82	15.3
午前7時45分～8時より前	60	11.2
午前8時～8時15分より前	115	21.5
午前8時15分～8時30分より前	62	11.6
午前8時30分～8時45分より前	89	16.6
午前8時45分～9時より前	30	5.6
午前9時以降	10	1.9
無回答	5	0.9

回答数計 536

認可保育所、認定こども園(保育利用)などの保育サービスを利用している世帯は、午前7時30分から8時30分の間に、約6割(59.6%)が送迎のために自宅を出ている。そのうち、最も多い時間帯は、「午前8時～8時15分より前」(21.5%)の時間帯である。

(2) 保育所等に到着し、お子さまを預ける時間は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比(%)
午前7時～7時15分より前	15	2.8
午前7時15分～7時30分より前	14	2.6
午前7時30分～7時45分より前	62	11.6
午前7時45分～8時より前	49	9.1
午前8時～8時15分より前	111	20.7
午前8時15分～8時30分より前	56	10.4
午前8時30分～8時45分より前	106	19.8
午前8時45分～9時より前	56	10.4
午前9時～9時15分より前	51	9.5
午前9時15分～9時30分より前	4	0.7
午前9時30分以降	7	1.3
無回答	5	0.9

回答数計 536

午前7時45分から8時45分の間に、6割(60.0%)の世帯が、保育所等に到着し子どもを預けている。そのうち、最も多い時間帯は、「午前8時～8時15分より前」(20.7%)の時間帯である。

(3) お子さまを預けた後、職場等に到着する時間は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前7時より前	1	0.2
午前7時～7時15分より前	0	0.0
午前7時15分～7時30分より前	1	0.2
午前7時30分～7時45分より前	7	1.3
午前7時45分～8時より前	16	3.0
午前8時～8時15分より前	48	9.0
午前8時15分～8時30分より前	67	12.5
午前8時30分～8時45分より前	96	17.9
午前8時45分～9時より前	75	14.0
午前9時～9時15分より前	95	17.7
午前9時15分～9時30分より前	30	5.6
午前9時30分以降	78	14.6
無回答	22	4.1

回答数計 536

子どもを保育所等に預けた後、午前8時15分から9時15分の間に、約6割（62.1%）の世帯が、職場に到着している。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前8時30分～8時45分より前」（17.9%）の時間帯である。

(4) 通勤に利用する交通手段のうち中心になるものは何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
徒歩	32	6.0
自家用車	341	63.6
自転車・オートバイ	61	11.4
電車	87	16.2
バス	5	0.9
無回答	10	1.9

回答数計 536

通勤のための交通手段としては、「自家用車」（63.6%）が最も多く、次いで「電車」（16.2%）、「自転車・オートバイ」（11.4%）の順となっている。

(5) (通勤に利用する交通手段を「電車」と答えた方にうかがいます。) 乗車駅はどこですか。

区分	回答数	構成比 (%)
小田原駅	31	35.6
鴨宮駅	13	15.0
国府津駅	12	13.8
栢山駅	6	6.9
蛭田駅	4	4.6
足柄駅	4	4.6
富水駅	3	3.4
その他	14	16.1
無回答	0	0.0

通勤に電車を利用している世帯で、最も多い乗車駅は、「小田原駅」(35.6%)で、次いで「鴨宮駅」(15.0%)、「国府津駅」(13.8%)となっている。

回答数計 87

※その他： 飯田岡駅、二宮駅、早川駅、箱根板橋駅、井細田駅、五百羅漢駅、風祭駅、入生田駅 など

(6) 終業後、保育所等にお迎えに行く時間は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午後3時より前	7	1.3
午後3時～午後3時30分より前	2	0.4
午後3時30分～午後4時より前	22	4.1
午後4時～午後4時30分より前	80	14.9
午後4時30分～午後5時より前	54	10.1
午後5時～午後5時30分より前	83	15.5
午後5時30分～午後6時より前	104	19.4
午後6時～午後6時30分より前	110	20.5
午後6時30分～午後7時より前	20	3.7
午後7時以降	6	1.1
無回答	48	9.0

終業後、6割以上(65.5%)の世帯が、午後4時30分から6時30分の間保育所等に迎えに行っている。

そのうち、最も多い時間帯は、「午後6時～6時30分より前」(20.5%)の時間帯である。

回答数計 536

問6 保育サービスの利用にあたっての送迎に関して、困っていることについてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
家から保育所等までが遠い	60	9.1
保育所等から乗車駅までが遠い	22	3.3
送迎に時間がかかりすぎる	41	6.2
保育所等の保育開始時間が遅い	34	5.1
保育所等の保育終了時間が早い	76	11.5
保育所等への送迎を代行するサービスがない	48	7.3
特に困っている点はない	301	45.5
その他	72	10.9
無回答	8	1.2

送迎に関して困っていることについては、「特に困っている点はない」(45.5%)が最も多く、次いで「保育所等の保育終了時間が早い」(11.5%)となっている。

回答数計 662

※その他： 駐車場がせまい、布団等の荷物が多く大変、2か所の送迎が大変(放課後児童クラブ含め)、土曜の終了時間が早い、雨の日の自転車や荷物が大変 など

問7 保育サービスの利用にあたっての送迎を支援する仕組みとして「送迎保育ステーション」があったら利用したいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用したい	118	22.0
子どもが1歳になったら利用したい	1	0.2
子どもが2歳になったら利用したい	0	0.0
子どもが3歳になったら利用したい	7	1.3
子どもが4歳になったら利用したい	5	0.9
子どもが5歳になったら利用したい	3	0.6
利用しない	248	46.3
わからない	150	28.0
無回答	4	0.7

「送迎保育ステーション」があった場合の利用については、「利用しない」(46.3%)が最も多く、次いで「わからない」(28.0%)、「利用したい」(22.0%)の順となっている。

回答数計 536

問 8 (問 7 で「送迎保育ステーション」を利用したいと回答した方にうかがいます。) 利用したいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
今よりも送迎の負担が減ることが期待できるため	87	34.4
勤務の都合上、現在の送迎の時間では対応が困難であるため	45	17.8
送迎時間の短縮により、親子の時間を増やすことができるため	42	16.6
親の負担が減ることで、子どもにも良い影響があると思うため	58	22.9
その他	21	8.3
無回答	0	0.0

回答数計 253

※その他： 遠方の職場も選択可能になる、急な残業等の際に利用したい など

「送迎保育ステーション」を利用したいと思う理由としては、「今よりも送迎の負担が減ることが期待できるため」(34.4%) が最も多く、次いで「親の負担が減ることで、子どもにも良い影響があると思うため」(22.9%) となっている。

問 9 (「送迎保育ステーション」を利用したいと回答した方のうち、「電車」で通勤している方にうかがいます。) 通勤先の最寄駅はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけ、駅名を記入してください。

区分	回答数	構成比 (%)	駅名 ※カッコ内数字は複数人回答
神奈川県内	18	51.4	小田原 (3)、藤沢 (2)、本厚木 (2)、横浜、新横浜、東戸塚、川崎、平塚、大和、伊勢原、海老名、渋沢、井細田、真鶴
東京都内	14	40.0	東京 (4)、新橋、新宿、赤坂見附、大崎、田町、東新宿、品川、六本木、馬喰町、飯田橋
それ以外の県	3	8.6	三島 (2)、三島広小路
無回答	0	0.0	

回答数計 35

「送迎保育ステーション」を利用したいと回答し、電車で通勤している世帯の通勤先は、「神奈川県内」(51.4%) の駅が最も多く、次いで「東京都内」(40.0%) となっている。

問 10 「送迎保育ステーション」は市内のどの駅の最寄にあると良いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
小田原駅	64	47.8
鴨宮駅	28	20.9
国府津駅	9	6.7
その他	19	14.2
無回答	14	10.4

回答数計 134

※その他： 自宅近辺、栢山駅、富水駅、二宮駅 など

「送迎保育ステーション」があると良いと思う場所は、「小田原駅」(47.8%) が最も多く、次いで「鴨宮駅」(20.9%) となっている。

問 11 「送迎保育ステーション」を利用することで、送迎にかかる時間がどれくらい短縮できると考えますか。(朝の送りにかかる時間を想定して、短縮できると思われる時間を回答してください。)

区分(短縮時間)	回答数	構成比(%)
10分未満	4	3.0
10分～20分未満	33	24.6
20分～30分未満	17	12.7
30分～40分未満	36	26.9
40分～50分未満	7	5.2
50分～1時間未満	1	0.7
1時間以上	10	7.5
無回答	26	19.4

回答数計 134

「送迎保育ステーション」の利用により短縮できると想定される送迎時間は、「30分～40分未満」(26.9%)が最も多く、次いで「10分～20分未満」(24.6%)となっている。

問 12 「送迎保育ステーション」の利用者負担金は、1か月あたりいくらまでなら負担しても良いと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比(%)
3千円未満	62	46.3
3千円～5千円未満	52	38.8
5千円～8千円未満	5	3.7
8千円～1万円未満	7	5.2
1万円～1万5千円未満	2	1.5
1万5千円以上	3	2.2
無回答	3	2.2

回答数計 134

「送迎保育ステーション」を利用する場合の利用負担金の上限額は、8割以上(85.1%)の世帯が5千円未満と回答している。そのうち、最も多いのは「3千円未満」(46.3%)である。

問 13 (問7で「送迎保育ステーション」を利用しないと回答した方にうかがいます。)利用しないと考える理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答数	構成比(%)
移動に伴う子どもへの負担が心配であるため	45	10.7
移動時の交通事故などが心配であるため	37	8.8
送迎に関する負担軽減が期待できないため	38	9.0
現状の負担がそれほど大きくないため	170	40.3
利用のための負担金がかかるため	72	17.1
負担額に比べて効果が感じられないため	20	4.7
その他	32	7.6
無回答	8	1.9

回答数計 422

「送迎保育ステーション」を利用しないと考える理由としては、「現状の負担がそれほど大きくないため」(40.3%)が最も多くなっている。

※その他： 保育所とコミュニケーションがとれない、祖父母に送迎を頼んでいる、保育所が近い など

将来、保育サービスの利用を希望している世帯の状況

問 14 (問 4-2 で「認可保育所」、「認定こども園(保育利用)」、「小規模保育事業」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」に○をつけた方にうかがいます。) 今後、保育サービスの利用を開始する際には、どのような理由で利用する予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
育休復帰に伴う利用	103	46.6
新たに就労開始することに伴う利用	75	33.9
求職活動の実施に伴う利用	28	12.7
その他の理由による利用	12	5.4
無回答	3	1.4

回答数計 221

※その他： すでに就労中、通院・介護 など

将来、保育所等の保育サービスの利用を開始する理由としては、「育休復帰に伴う利用」(46.6%)が最も多く、次いで「新たに就労開始することに伴う利用」(33.9%)となっている。

問 15 認可保育所などの保育サービスを選ぶ際には、何を重視して選びたいと考えていますか。当てはまる番号2つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
家と保育所の距離	176	41.9
保育所と就労先の距離	57	13.6
保育所と最寄駅の距離	8	1.9
保育の内容	121	28.8
施設の設備	15	3.6
施設の開所時間	30	7.1
その他	10	2.4
無回答	3	0.7

回答数計 420

※その他： 兄弟と同じ保育所、保育士の雰囲気 など

将来、保育サービスを選ぶ際に重視する点は、「家と保育所の距離」(41.9%)が最も多く、次いで「保育の内容」(28.8%)となっている。

問 16 認可保育所などを利用する際の送迎について、どのような行動になることが想定されますか。

※現時点での希望保育所や考えられる就労先などから想定範囲でお答えください。

(1) 利用のために自宅を出る時間は何時ごろの想定ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前 6 時 30 分～6 時 45 分より前	3	1.4
午前 6 時 45 分～7 時より前	6	2.7
午前 7 時～7 時 15 分より前	40	18.1
午前 7 時 15 分～7 時 30 分より前	17	7.7
午前 7 時 30 分～7 時 45 分より前	37	16.7
午前 7 時 45 分～8 時より前	10	4.5
午前 8 時～8 時 15 分より前	60	27.1
午前 8 時 15 分～8 時 30 分より前	13	5.9
午前 8 時 30 分～8 時 45 分より前	22	10.0
午前 8 時 45 分～9 時より前	1	0.5
午前 9 時以降	5	2.3
無回答	7	3.2

回答数計 221

将来、保育サービスを利用した際に想定している子どもを預けるために家を出る時間は、午前 7 時から 8 時 30 分の間を、8 割 (80.0%) の世帯が選んでいる。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前 8 時～8 時 15 分より前」(27.1%) の時間帯である。

(2) 保育所等に到着し、お子さまを預ける時間は何時ごろの想定ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前 7 時より前	0	0.0
午前 7 時～7 時 15 分より前	14	6.3
午前 7 時 15 分～7 時 30 分より前	8	3.6
午前 7 時 30 分～7 時 45 分より前	46	20.8
午前 7 時 45 分～8 時より前	16	7.2
午前 8 時～8 時 15 分より前	39	17.6
午前 8 時 15 分～8 時 30 分より前	17	7.7
午前 8 時 30 分～8 時 45 分より前	41	18.6
午前 8 時 45 分～9 時より前	13	5.9
午前 9 時～9 時 15 分より前	14	6.3
午前 9 時 15 分～9 時 30 分より前	0	0.0
午前 9 時 30 分以降	5	2.3
無回答	8	3.6

回答数計 221

将来、保育サービスを利用する際に想定している保育所等に子どもを預ける時間は、午前 7 時 30 分から 9 時の間を約 8 割 (77.8%) の世帯が選んでいる。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前 7 時 30 分～7 時 45 分より前」(20.8%) の時間帯である。

(3) お子さまを預けた後、職場に到着する時間は何時ごろの想定ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前7時より前	0	0.0
午前7時～7時15分より前	0	0.0
午前7時15分～7時30分より前	1	0.5
午前7時30分～7時45分より前	7	3.2
午前7時45分～8時より前	11	5.0
午前8時～8時15分より前	37	16.7
午前8時15分～8時30分より前	13	5.9
午前8時30分～8時45分より前	31	14.0
午前8時45分～9時より前	25	11.3
午前9時～9時15分より前	48	21.7
午前9時15分～9時30分より前	7	3.2
午前9時30分以降	31	14.0
無回答	10	4.5

回答数計 221

将来、保育サービスを利用する際に想定している保育所等に子どもを預けた後、職場に到着する時間は、午前8時から9時15分の間を、約7割(69.6%)の世帯が選んでいる。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前9時～9時15分より前」(21.7%)の時間帯である。

(4) 通勤に利用する交通手段のうち中心になるものは何が想定されますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
徒歩	9	4.1
自家用車	135	61.1
自転車・オートバイ	30	13.6
電車	40	18.1
バス	2	0.9
無回答	5	2.3

回答数計 221

将来、想定している通勤のための交通手段としては、「自家用車」(61.1%)が最も多く、次いで「電車」(18.1%)、「自転車・オートバイ」(13.6%)となっている。

(5) (通勤に利用する交通手段を「電車」と答えた方にうかがいます。)乗車駅はどこが想定されますか。かっこ内に駅名を記入してください。

区分	回答数	構成比 (%)
小田原駅	12	30.0
鴨宮駅	6	15.0
富水駅	3	7.5
足柄駅	3	7.5
蛭田駅	3	7.5
国府津駅	3	7.5
その他	9	22.5
無回答	1	2.5

将来、通勤に電車を利用することを想定している世帯で、最も多い乗車駅は、「小田原駅」(30.0%)で、次いで「鴨宮駅」(15.0%)となっている。

回答数計 40

※その他： 井細田駅、五百羅漢駅、上大井駅、栢山駅、相模沼田駅 など

(6) 終業後、保育所等にお迎えに行く時間は何時ごろが想定されますか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午後3時より前	2	0.9
午後3時～午後3時30分より前	5	2.3
午後3時30分～午後4時より前	2	0.9
午後4時～午後4時30分より前	28	12.7
午後4時30分～午後5時より前	12	5.4
午後5時～午後5時30分より前	43	19.5
午後5時30分～午後6時より前	35	15.8
午後6時～午後6時30分より前	52	23.5
午後6時30分～午後7時より前	21	9.5
午後7時以降	8	3.6
無回答	13	5.9

将来、想定している、終業後、迎えに行く時間は、午後4時から6時30分の間を7割以上(76.9%)が選んでいる。そのうち、最も多い時間帯は、「午後6時～6時30分より前」(23.5%)の時間帯である。

回答数計 221

問17 保育サービスの利用にあたっての送迎を支援する仕組みとして「送迎保育ステーション」があったら利用したいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用したい	76	34.4
利用しない	51	23.1
わからない	91	41.2
無回答	3	1.4

将来、保育サービスを利用する予定の世帯の「送迎保育ステーション」の利用については、「わからない」(41.2%)が最も多く、次いで「利用したい」(34.4%)となっている。

回答数計 221

問 18 (問 17で「送迎保育ステーション」を利用したいと回答した方にうかがいます。)「送迎保育ステーション」は市内のどの駅の最寄にあると良いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
小田原駅	35	46.1
鴨宮駅	24	31.6
国府津駅	8	10.5
その他	9	11.8
無回答	0	0.0

将来、保育サービスを利用する際に「送迎保育ステーション」があると良いと思う場所としては、「小田原駅」(46.1%)が最も多く、次いで「鴨宮駅」(31.6%)となっている。

回答数計 76

※その他： 早川駅、足柄駅、富水駅、市役所 など

問 19 「送迎保育ステーション」の利用者負担金は、1か月あたりいくらまでなら負担しても良いと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
3千円未満	39	51.3
3千円～5千円未満	26	34.2
5千円～8千円未満	6	7.9
8千円～1万円未満	1	1.3
1万円～1万5千円未満	3	3.9
1万5千円以上	1	1.3
無回答	0	0.0

将来、保育サービスを利用する際の「送迎保育ステーション」利用負担金の上限額は、8割以上(85.5%)の世帯が5千円未満と回答している。

そのうち、最も多いのは「3千円未満」(51.3%)である。

回答数計 76

現在、教育サービスを利用している世帯の状況

問 20 (問 4-1 で「1. 幼稚園」または「4. 認定こども園 (幼稚園利用)」に○をつけた方にうかがいます。) 幼稚園等の教育サービスの利用時間等の状況についてうかがいます。

※平均的な状況についてお答えください。

(1) 幼稚園等の利用のために自宅を出る時間は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前 7 時 30 分より前	2	0.6
午前 7 時 30 分～7 時 45 分より前	9	2.9
午前 7 時 45 分～8 時より前	18	5.8
午前 8 時～8 時 15 分より前	37	11.9
午前 8 時 15 分～8 時 30 分より前	18	5.8
午前 8 時 30 分～8 時 45 分より前	107	34.5
午前 8 時 45 分～9 時より前	78	25.2
午前 9 時～9 時 15 分より前	27	8.7
午前 9 時 15 分～9 時 30 分より前	3	1.0
午前 9 時 30 分以降	4	1.3
無回答	7	2.3

回答数計 310

幼稚園、認定こども園 (幼稚園利用) などの教育サービスを利用している世帯の約 6 割 (59.7%) が、午前 8 時 30 分から 9 時の間に、送迎のために自宅を出ている。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前 8 時 30 分～8 時 45 分より前」(34.5%) の時間帯である。

(2) 幼稚園等に預ける時間 (通園バスに乗車する時間) は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午前 7 時 30 分より前	0	0.0
午前 7 時 30 分～7 時 45 分より前	2	0.6
午前 7 時 45 分～8 時より前	17	5.5
午前 8 時～8 時 15 分より前	21	6.8
午前 8 時 15 分～8 時 30 分より前	24	7.7
午前 8 時 30 分～8 時 45 分より前	41	13.2
午前 8 時 45 分～9 時より前	57	18.4
午前 9 時～9 時 15 分より前	107	34.5
午前 9 時 15 分～9 時 30 分より前	12	3.9
午前 9 時 30 分以降	8	2.6
無回答	21	6.8

回答数計 310

午前 8 時 30 分から 9 時 15 分の間に 6 割以上 (66.1%) の世帯が、幼稚園等に子どもを預けている。

そのうち、最も多い時間帯は、「午前 9 時～9 時 15 分より前」(34.5%) の時間帯である。

(3) 幼稚園等のお迎えの時間（子どもを受け取る時間）は何時ですか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午後 1 時より前	1	0.3
午後 1 時～午後 1 時 30 分より前	2	0.6
午後 1 時 30 分～午後 2 時より前	10	3.2
午後 2 時～午後 2 時 30 分より前	174	56.1
午後 2 時 30 分～午後 3 時より前	55	17.7
午後 3 時～午後 3 時 30 分より前	51	16.5
午後 3 時 30 分～午後 4 時より前	2	0.6
午後 4 時～午後 4 時 30 分より前	3	1.0
午後 4 時 30 分～午後 5 時より前	2	0.6
午後 5 時以降	4	1.3
無回答	6	1.9

幼稚園等のお迎えの時間帯は、「午後 2 時～2 時 30 分より前」(56.1%) が最も多くなっている。

回答数計 310

問 21 幼稚園等における延長保育の利用の状況についてうかがいます。

(1) 幼稚園等の通常の教育時間後に延長保育を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用している	76	24.5
今は利用していないが、今後利用したい	71	22.9
現在通っている施設では延長保育が実施されていないが、あれば利用したい	46	14.8
今は利用しておらず、今後も利用する予定はない	112	36.1
無回答	5	1.6

回答数計 310

(2) 「利用している」、「今は利用していないが、今後利用したい」、「現在通っている施設では延長保育が実施されていないが、あれば利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

延長保育は週何回くらい利用しますか。

区分	回答数	構成比 (%)
1 回	63	32.6
2 回	40	20.7
3 回	35	18.1
4 回	6	3.1
5 回	12	6.2
その他 (月 1 回など)	30	15.5
無回答	7	3.6

幼稚園等の延長保育の利用は、6 割以上 (62.2%) の世帯が「利用している」、または「利用したい」と回答している。利用回数は、「週 1 回」(32.6%) が最も多くなっている。

回答数計 193

(3) 延長保育は平均して何時ごろまで利用していますか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午後3時ごろまで	3	1.6
午後3時30分ごろまで	17	8.8
午後4時ごろまで	14	7.3
午後4時30分ごろまで	72	37.3
午後5時ごろまで	14	7.3
午後5時30分ごろまで	43	22.3
午後6時ごろまで	5	2.6
午後6時30分ごろまで	7	3.6
午後6時30分以降	1	0.5
無回答	17	8.8

幼稚園等の延長保育の利用時間は、「午後4時30分ごろまで」(37.3%)が最も多く、次いで「午後5時30分ごろまで」(22.3%)となっている。

回答数計 193

(4) 延長保育を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
保護者が就労しているため	74	28.8
病気などにより家庭での保育が難しいため	6	2.3
近所に遊ぶ友だちが少ないため	11	4.3
家事や用事を済ませる時間を確保するため	97	37.7
子どもが希望するため	24	9.3
その他	29	11.3
無回答	16	6.2

幼稚園等の延長保育を利用する理由は、「家事や用事を済ませる時間を確保するため」(37.7%)が最も多く、次いで「保護者が就労しているため」(28.8%)となっている。

回答数計 257

※その他： 兄妹の学校の行事、兄弟の健診、介護 など

問 22 幼稚園等における夏休みなどの長期休暇中の預かり保育についてうかがいます。現在、預かり保育を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用している	42	13.5
今は利用していないが、今後利用したい	43	13.9
現在通っている施設では預かり保育が実施されていないが、あれば利用したい	73	23.5
今は利用しておらず、今後も利用する予定はない	139	44.8
無回答	13	4.2

回答数計 310

幼稚園等の長期休暇中の預かり保育については、約5割(50.9%)の方が、「利用している」または「利用したい」と回答している。

将来、教育サービスの利用を希望している世帯の状況

問 23 (問 4-2で「幼稚園」、または「認定こども園(幼稚園利用)」に○をつけた方にうかがいます。) 今後、幼稚園等の教育サービスの利用を開始する際には、何を重視して施設を選びますか。当てはまる番号2つに○をつけてください。

区分	回答数	構成比 (%)
家と幼稚園等との距離	224	38.6
教育の内容	208	35.9
施設の設備	63	10.9
延長保育の実施有無	34	5.9
長期休暇中の預かり保育の実施有無	13	2.2
その他	35	6.0
無回答	3	0.5

将来、幼稚園等を希望している世帯が利用開始にあたって重視することは、「家と幼稚園等との距離」(38.6%)が最も多く、次いで「教育の内容」(35.9%)となっている。

回答数計 580

※その他： 保育料、兄弟が通っていた、先生 など

問 24 幼稚園等における延長保育の利用についてうかがいます。

(1) 幼稚園等の通常の教育時間後の延長保育を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。現時点で考えられる予定あるいは希望の範囲でお答えください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用したい	175	56.8
利用しない	129	41.9
無回答	4	1.3

回答数計 308

(2) (「利用したい」を選んだ方にうかがいます。) 週何回くらい利用したいと考えていますか。

区分	回答数	構成比 (%)
1回	36	20.6
2回	53	30.3
3回	54	30.9
4回	13	7.4
5回	15	8.6
その他(月1回など)	3	1.7
無回答	1	0.6

将来、幼稚園等を希望している世帯の延長保育の利用希望については、5割以上(56.8%)が「利用したい」と回答している。利用回数は、「週3回」(30.9%)が最も多くなっている。

回答数計 175

(3) 延長保育は平均何時ごろまで利用したいと考えていますか。

時間帯	回答数	構成比 (%)
午後 3 時ごろまで	1	0.6
午後 3 時 30 分ごろまで	7	4.0
午後 4 時ごろまで	2	1.1
午後 4 時 30 分ごろまで	48	27.4
午後 5 時ごろまで	12	6.9
午後 5 時 30 分ごろまで	58	33.1
午後 6 時ごろまで	11	6.3
午後 6 時 30 分ごろまで	25	14.3
午後 6 時 30 分以降	8	4.6
無回答	3	1.7

回答数計 175

将来、幼稚園等を希望している世帯の、延長保育の利用時間の希望は、「午後 5 時 30 分ごろまで」(33.1%)が最も多く、次いで「午後 4 時 30 分ごろまで」(27.4%)となっている。

問 25 幼稚園等における夏休みなどの長期休暇中の預かり保育の利用についてうかがいます。長期期間中の預かり保育を利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。現時点で考えられる予定あるいは希望の範囲でお答えください。

区分	回答数	構成比 (%)
利用したい	167	54.2
利用しない	132	42.9
無回答	9	2.9

回答数計 308

将来、幼稚園等を希望している世帯の、長期休暇中の預かり保育の希望については、5 割以上(54.2%)が「利用したい」と回答している。

利用していきたい教育・保育サービス

問 26 通常の教育・保育サービス（日常的な幼稚園、保育所等の利用）以外に利用していきたい教育・保育サービスは何ですか。下から3つまで選び、利用したい順に番号を記入してください。

区分	第1位	構成比 (%)	第2位	構成比 (%)	第3位	構成比 (%)	第1～ 3位の 合計	構成比 (%)	全体の 中での 順位
(保育所における)延長保育	318	22.1	96	6.7	66	4.6	480	11.1	②
(幼稚園における)延長保育	265	18.4	147	10.2	58	4.0	470	10.9	③
(幼稚園における)長期休暇中の預かり保育	137	9.5	196	13.6	77	5.4	410	9.5	⑤
休日保育	142	9.9	178	12.4	139	9.7	459	10.6	④
一時保育	89	6.2	117	8.1	109	7.6	315	7.3	⑦
病児・病後児保育	178	12.4	205	14.3	151	10.5	534	12.4	①
通常の保育時間前後のファミリー・サポート・センター利用	34	2.4	91	6.3	112	7.8	237	5.5	⑧
幼稚園・保育所における子育て支援事業(講座実施、相談支援、子育てサークルなど)	127	8.8	105	7.3	157	10.9	389	9.0	⑥
送迎保育ステーション	52	3.6	66	4.6	118	8.2	236	5.5	⑨
夜間保育	2	0.1	20	1.4	51	3.5	73	1.7	⑩
その他	47	3.3	6	0.4	11	0.8	64	1.5	—
無回答	46	3.2	210	14.6	388	27.0	644	14.9	—

回答数計 1,437

※その他： 特になし、給食、保育料 など

日常的な幼稚園、保育所等の利用以外に、利用していきたい教育・保育サービスについて利用したい順に聞いたところ、第1位に挙げたのは「(保育所における)延長保育」(22.1%)、「(幼稚園における)延長保育」(18.4%)、「病児・病後児保育」(12.4%)の順であった。第2位に挙げたのは「病児・病後児保育」(14.3%)、「(幼稚園における)長期休暇中の預かり保育」(13.6%)、「休日保育」(12.4%)の順であり、第3位に挙げたのは「幼稚園・保育所における子育て支援事業(講座実施、相談支援、子育てサークルなど)」(10.9%)、「病児・病後児保育」(10.5%)、「休日保育」(9.7%)の順となっている。

第1位から第3位に挙げた得票数を合計して比較すると、最も得票したのは「病児・病後児保育」(534票)、次いで「(保育所における)延長保育」(480票)、次いで「(幼稚園における)延長保育」(470票)の順であった。

問 27 最後に、子育て施策全般について、どのようなサポートや制度があったら良いかなど、ご意見がございましたら自由に記入してください。

自由意見の分野別件数

総数 (879 件)

(1) 子育て支援施設・子育て支援サービスについて (661 件)

- ① 保育園 (236 件)
- ② 幼稚園 (125 件)
- ③ 各種保育サービス (138 件)
- ④ 放課後児童クラブ (29 件)
- ⑤ 学校・教育 (23 件)
- ⑥ 子育てに関する情報 (31 件)
- ⑦ 子育てに関する相談 (15 件)
- ⑧ ひとり親家庭・障がいのある子どもへの支援など (14 件)
- ⑨ その他の子育て支援サービス (50 件)

(2) 子育て環境 (116 件)

- ① 子どもの遊び場等 (52 件)
- ② 子育てにやさしいまちづくり (11 件)
- ③ 子どもの安全 (5 件)
- ④ 地域とのつながり、協力等 (11 件)
- ⑤ 母子保健、小児医療 (23 件)
- ⑥ 公共施設の整備等 (14 件)

(3) 子育てに関する親の状況 (13 件)

- ① 子育てと仕事の両立 (13 件)

(4) 行政について (80 件)

- ① 経済的支援 (64 件)
- ② その他の子育てに関する要望 (10 件)
- ③ その他の子育て以外に関する要望 (6 件)

(5) その他 (9 件)

- ① アンケートの感想等 (8 件)
- ② 不明 (1 件)

